

当事者の声から見える 地域生活支援 ～浦河べてるの家の実践と当事者研究～

オンラインによる講演

講師

向谷地 生良 先生

社会福祉法人 浦河べてるの家 理事長

青森県出身、ソーシャルワーカー。北星学園大学卒業後、1978年に北海道の病院で精神科ソーシャルワーカーとして勤務。1979年から浦河教会（後の「べてるの家」）を拠点に精神障害者の共同生活と交流活動を開始。1984年「浦河べてるの家」を設立。2001年に「当事者研究」を創案し、メンバーの自助、スタッフの相談支援に取り入れる。2003年より北海道医療大学で教鞭をとりつつ、全国で「当事者研究」の普及活動を行っている。2021年より北海道医療大学を退任し名誉教授。同年、社会福祉法人浦河べてるの家理事長に就任。

●著書 「べてるの家から吹く風」（いのちのことば社）
「安心して絶望できる人生」（NHK出版） 他多数



日時

令和8年11月6日(金曜日) 午後2時～4時
(受付13時30分～)

対象

協会会員及び精神保健に関心のある方

定員

ZOOMウェビナー 300名

ZOOM参加が難しい方は、広島県総合精神保健福祉センターにて視聴が可能です。（定員40名程度）
（視聴会場：安芸郡坂町北新地2-3-77広島県立総合精神保健福祉センター 教育研修棟2階）

●お申込み方法は裏面へ

主催：広島県精神保健福祉協会

後援：広島県/広島市/広島県精神科病院協会/日本精神科看護協会広島県支部